

## 平成21年度 政策評価書（事後の事業評価）

担当部局：経理装備局システム装備課

実施時期：平成21年9月～平成22年1月

**事業名**：対空戦闘指揮統制システム

**政策体系**：4-1 研究・開発

**事業内容**：中・高空域における対空監視網を構成して目標情報の収集及び迅速・的確な対空戦闘の指揮・統制を実施するため、レーダ及び火力システムに対する高速指揮・統制技術の解明、レーダの高性能化を実現し、対空監視レーダ及び指揮統制システムからなる対空戦闘指揮統制システムを開発する。

**経費総額**：約111億円

## ○評価の内容

### 1 事業の目的

空からの脅威の趨勢に対応するため、中・高空域における対空監視網を構成し、目標情報資料の収集及び迅速・的確な対空戦闘の指揮・統制を実施するために使用する対空監視レーダ及び指揮統制システムからなる対空戦闘指揮統制システムを開発することを目的とする。

### 2 達成状況

#### (1) 達成効果

以下の技術等を各種試験において解明したことにより、中・高空域における対空監視網を構成し、目標情報資料の収集及び迅速・的確な対空戦闘の指揮・統制を実施するための対空戦闘指揮統制システムを開発することができた。

#### ア リアルタイム処理・伝送

現有装備と比較し、飛躍的に命令伝送速度を短縮することができた。

#### イ 階層化組織による目標情報の相関・統合処理

指揮統制装置における対空目標情報の位置、類識別等の同一性判定をすることができた。

#### ウ 目標割当・配当

交戦すべき目標を指揮統制装置あるいは対空火器へ最適配分することができた。

#### エ センサマネジメント

指揮統制装置で対空監視レーダを制御し、監視覆域等を最適化することができた。

#### オ 低S/N(※)信号検出

従来よりも低レベルの目標信号を探知し、探知距離を延伸することができた。

#### カ 目標類別

類別支援機能による固定翼機、回転翼機及びミサイルを判別することができた。

#### キ 小型軽量化

レーダ装置の1車両への搭載を実現するための小型軽量化することができた。

※低S/N 受信信号の強さと雑音の強さの比が低いということ。

#### (2) 達成時期

平成16年度から20年度にかけて試作、平成18年度から20年度にかけて試験を実施し、所要の機能・性能を有することなどを確認した。

#### (3) 教訓等事項

運用者の意見を試作の段階から積極的に採り入れ、リアルタイム処理、相関統合処理及び目標割当・配当等の処理シーケンスについて検討した結果、試験において、処理要領の妥当性及び操用性に関して運用者から高い評価を得ることが出来た。

○ **今後の対応**

今後、陸上自衛隊の方面隊、師団等の高射特科部隊への整備を行う。

○ **その他の参考情報**

別紙 対空戦闘指揮統制システムの運用構想図